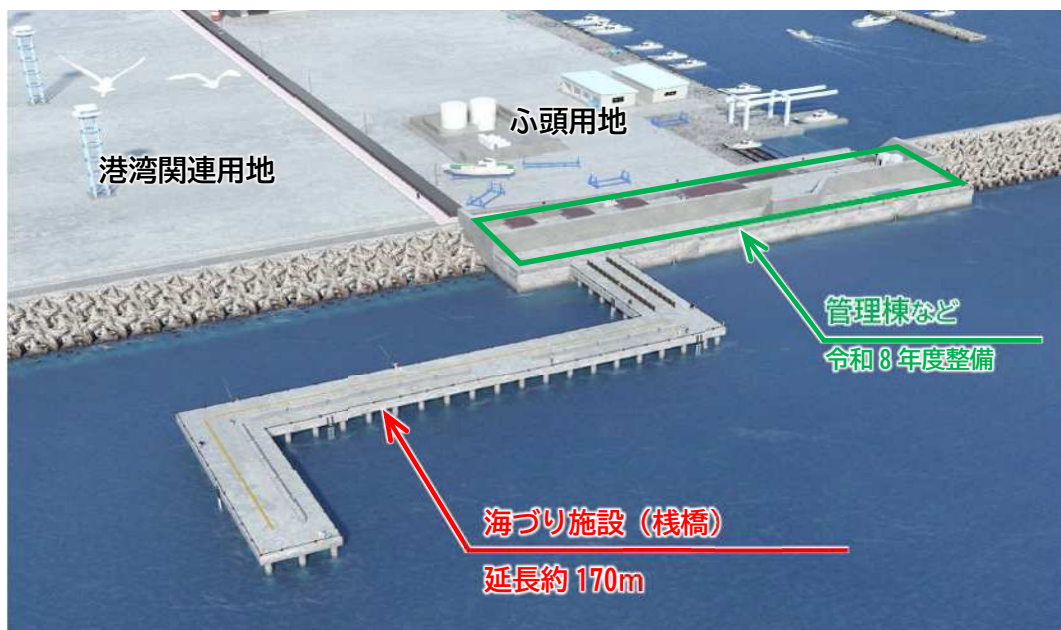


「清水港海づり公園」暫定供用開始

1 要旨

- ・静岡市には、かつて、清水港江尻地区に超大型浮体(メガフロート)を活用した旧海釣り公園があり、多くの方に釣りを楽しんでいただいていたいました。
- ・2011年3月に東日本大震災で被害を受けた福島第1原子力発電所の放射能汚染水の貯蔵施設として、メガフロートを東京電力(株)に売却することとなり、同公園は2011年3月末をもって廃止しました。
- ・2015年度に、地元自治会や清水港を管理する静岡県などとの協議・調整を重ね、新たな海釣り公園を興津地区に整備することを決定しました。2018年からは、県と連携しながら、施設整備に取り組んできました。
- ・このたび、公園内の海釣り施設(栈橋部分)の整備が完了したことから、2026年4月29日(水・祝)から、暫定供用を開始します。
- ・引き続き、静岡県によるアクセス道路や防潮堤の整備等と合わせ、管理棟の整備を進め、2027年度からの海づり公園全体のオープンを目指します。



2 経緯

- 2003 静岡市清水港海づり公園(旧施設)が清水区袖師地先にオープン
- 2011 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生。放射能汚染水の貯留施設として東京電力(株)に譲渡
- 2018 工事着手(2018~2020:下部工 2022~2024:上部工 2025:付帯工事)
- 2026 暫定供用開始
- 2027 本格供用開始予定

【次頁あり】

3 事業概要

整備総事業費 約15億3,000万円（2018年～2025年：7年間）

4 施設の位置図

所在地：静岡市清水区興津本町 地先

広域マップ



詳細マップ



5 施設の概要

- ・「清水港海づり公園」のうち、「海づり施設(栈橋)」を4月29日(水・祝)にオープンします。
- ・今年度は、土・日・祝日のみ営業となります。
- ・開園時間 4月:7時から17時まで
5月～8月:6時30分から18時30分まで
9月～12月、1月～3月:7時から17時まで
- ・定員 125名
- ・利用料金 4時間まで
一人あたり 一般 1,000円、小学生・中学生 500円、未就学児無料
延長使用料(1時間ごと)
一人あたり 一般 300円、小学生・中学生 150円、未就学児無料
- ・用具 釣り具、エサ、救命胴衣をお持ちください。
※ 救命胴衣を着用しない方は、施設を利用できません。
- ・駐車場 静岡県が緑地内に整備した駐車場(約125台分)を無料で利用いただけます。
利用時間については、上記の開園時間のみとなります。
※ 新興津地区では、市が進める海づり公園整備事業のほか、県が緑地などを整備しています。
- ・海釣り施設(栈橋)の紹介
全体延長 167m 幅員 10m。周辺には、クロダイやカサゴ、シロギスなどが生息しており、新興津地区ならではの魚釣りを楽しめるほか、富士山を眺めながら大海原に釣り糸を垂らすことのできる、大変魅力的な釣り場となっています。



※詳しくは、別紙「清水港海づり公園 暫定供用時の施設概要」参照

【次頁あり】

参考 地元現地説明会の様子

- ・4月29日(水・祝)のオープンに先立ち、4月22日(水)に地元関係者等に海づり公園(栈橋)を見学していただき、設備や安全対策について、説明しました。
- ・当日は、施設管理者と港北消防署の連携による落水時を想定した救難訓練を実施するなど、危機管理体制や安全性の確認を行いました。
- ・自助(救命胴衣、泳いで自力でタラップから上る)、共助(施設管理者、周囲の釣り客から浮き輪の投げ入れ)、公助(消防による救助)について、参加者とともに確認をしました。



当日の様子(その1):管理者による救助状況



(その2):消防による救助状況



落水時の安全施設:水難救命ボックス



前日までの訓練の様子:タラップを使用した救助状況



前日までの訓練の様子:管理者による救助状況

参考 開園基準や津波警報等発令時の対応

- ・強風、大雨、波浪、高波、雷等の各種<注意報、警報>発表時は、開園しません。
- ・地震の発生、津波等の注意報、警報が発表された場合は、駐車場(標高6m)へ一次避難、その後、状況によっては新興津地区緑地内の命山(標高10m)へ避難してもらうことを想定しています。

担当:経済局 海洋政策部 BX 推進課(054-354-2344)

